

2023年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
基礎演技 I											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習+ 実技	時間数	105	単位	3
担当教員	長谷川浩司、田中由香、菅沼秀杜、渡井 れい			実務 経験	有	職種	俳優(長谷川・菅沼・渡井)、声優(田中)				
授業概要											
個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学ぶ。											
到達目標											
正しい呼吸法および発声方法を学び、大きく通る声を作る。発音基礎練習教材を個人・グループで共有し、自ら進んで練習ができる。与えられた課題台詞等をハッキリと正確に喋ることができるなど、舞台や映像といったジャンルを問わず演じることを学び、役者としての基礎を工夫して作りあげ、形式や固定観念に囚われず、個の素質を重要視し自分らしい役者になる礎を築くことを目標としている。											
授業方法											
基本的な声の出し方として、呼吸法や発声法、肉体トレーニングを行い、役者としてのルーティンワークの重要性を理解しながらそれをどうやって演技に結びつけて行くかを意識しながら授業を進める。ベーシックな50音の発声や音階を使った発声等、様々な手法を使い、自分にとっての最良な方法を模索しながら、一俳優として一つの役柄、作品にどう取り組んで行くべきかを考察する。											
成績評価方法											
授業時間内に行われる発表方法・内容、積極的な授業参加度・授業態度によって、試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーション・協働性を重視する。役者としての常識マナーを身につけるために原則として遅刻や欠席、見学は認めない。集中力を欠かさず、向上心と積極性を持って授業に参加することを求める。グループワークでの発表が多いので、協調性をもち、授業に参加できるようにコミュニケーションをとり、出された課題は各自クリアをするために日々研究を重ね、授業に臨むこと。授業時数4分の3以上出席が必須。											
教科書教材											
「ベーシックテキスト」その他、必要に応じてプリントを配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。											
回数	授業計画										
第1回	基礎の重要性を理解し、個々の課題（テーマ）を見つける。										
第2回	腹式呼吸の仕組みを理解し、発音基礎練習Aをすべて覚え言えるようになる。										
第3回	身体表現について理解する。										

基礎演技 I

第4回	感情表現について理解する。
第5回	発音基礎練習をア～ワ行までをすべて覚え、言えるようになる。
第6回	発音基礎練習をガ～ピャ行までをすべて覚え、言えるようになる。
第7回	呼吸法を用いた発音基礎練習をすべてマスターし、自ら訓練することができる。
第8回	課題台詞「外郎売」の一節を覚えて発表する。リップロール・タングトリルをマスターする。
第9回	課題台詞を用い心の動きを体感する。
第10回	課題台詞を用いながら五感のエチュードで感性を磨く。
第11回	「外郎売」の内容を理解し、テキストを見ずにすべてを言えるようになる。
第12回	全身を使って台詞をわかりやすく表現できるようになる。
第13回	テンポを考え、メリハリのきいた「グループ（群）」としてのパフォーマンスを仕上げる。
第14回	「外郎売」パフォーマンスの通し稽古とリハーサルができる。
第15回	発表課題「外郎売」をパフォーマンスとして人前で発表できる。